

### 第3号議案 平成28年度事業計画（案）

#### ビジョン「飛躍」

##### 1 九連主催大会等の成功

(1) 第67回九州選手権大会

5月21日（土）～22日（日）大分スポーツ公園だいぎんテニスコート

(2) 平成28年度九州レディース大会 個人戦（第36回） 団体戦（第34回）

11月5日（土）～6日（日）大分スポーツ公園だいぎんテニスコート

(3) 1級公認審判員研修会

12月17日（土）豊後大野市三重町大原総合体育館

(4) 第29回 九州中学選抜大会（前日練習12面あり）

3月19日（日）大分スポーツ公園だいぎんテニスコート

※大会経費確保のため、各加盟団体等へ広告の依頼がある場合、ご協力をお願いします。

##### 2 普及振興事業

(1) 技術等級の認定（大会実績）

大会実績による技術等級認定制度の周知、徹底を図り、多くの会員に取得させるように努める。

(2) 審判員資格認定

審判講習会を計画的に実施する。

審判ハンドブックの購入を義務化する。

(3) 愛好者増加対策事業<日連>

中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレーできる環境を提供する。

また、レディースを含めた社会人を対象として実施する。8月28日（日）中学生を対象に大分市宮鶴崎にて実施予定。その他、10月・12月・2月（2回）にコートを5面確保している。

(4)（新規）県愛好者増加対策事業

計画実施した支部へ3万円を限度として助成する。支部において、愛好者を増加させる事業を計画し、実施する。実施後は県連へ領収書を添えて報告する。助成金は精算払いとする。

(5) 日本スポーツマスターズの充実

日本スポーツマスターズ大会参加者の負担軽減として、日連の助成金が5万円増加され15万円となった。このことから、県代表として大会に参加する。

(6) ゼッケンの着用

統一ゼッケン（3段）を着用し、プレーしている選手が誰からでも判るようにする。

(7) 大会審判のワッペン着用の義務化

大会時に審判を行う際にワッペンを左胸に着用し、審判員の意識向上を図る。

(8) ソフトテニス週間の実施

全国一斉ソフトテニスデー中央大会を実施し、全国で一斉にソフトテニスを楽しみ、

アピールする。

(9) 指導者の養成

公認スポーツ指導者の資格取得を促し、取得者を増加させる。

(10) ホームページの充実

- ・大会情報、大会結果等の迅速な掲載等の充実を図り、更に魅力的なホームページとする。
- ・SNSを活用し、試合会場からすぐに情報が広く拡散するよう図っていく。

(11) 表彰

- ・表彰規程に則って、表彰を行う。
- ・各種ランキングによる表彰を行う。

### 3 競技力向上事業

(1) 国民体育大会

九州ブロック大会（宮崎県）で予選を勝ち抜き、本大会へ出場する。

成年男子（2県）、少年男子（4県）、少年女子（4県）、成年女子は予選なしで岩手国体出場となる。平成21年の新潟国体において少年女子の7位入賞以来、入賞がない。更なる強化を図っていく。

(2) 各専門部での取り組み

①小学部

1) 普及活動（競技人口の維持拡大とソフトテニス文化の発展を目指して）

○団体戦大会を年ごとに市を変えて開催

○各市でのソフトテニスのジュニア競技人口の把握

○大会・練習会参加の呼びかけ

大会に出場が遠のいているチームもあるので、大会や練習会への参加を積極的に呼びかける

○全県での普及練習会

ジュニアチームの活動がこれから始まる地域、活発にしていきたい地域から依頼をうけたり普及委員より練習会を提案したりして各地で開催。

前年は国東市・豊後高田市・大分市・宇佐市・中津市等で随時開催

○指導者発掘（指導者バンクの提案）

各地域で埋もれているソフトテニス経験者にジュニアチームの指導に携わって頂き、地域でソフトテニスができる環境づくりをすすめ、全県的にジュニアチームが活動できる素地をつくる。

2) 育成活動・強化活動（生涯スポーツ競技者としての心身育成を目指して）

【強化練習会を年間10回以上開催】

○初級・中級・上級と選手層を分け、発達段階に応じて、大分県の子どもたちをチーム大分全体で底上げを図った指導を行う。

後に中学→高校→大学・一般等で続けていける選手の成長を見据えて、ソフトテニスを好きで続けていける雰囲気、環境の中での育成を目指す。

○全国・全日本・西日本・九州大会に向けた選抜チームの活動（時期に応じて）

○U-14の小学生代表の選抜チームでの活動（時期に応じて）

○九州各県のジュニアチームを招いての交流練習会を企画し、大分県内のみならず、九州全体のレベルアップを図る。

○同世代間の小学生同士のつながりを大切にし、中学生以上の選手にも練習に参加して頂き、縦のつながりもつくって交流を図る。

「横の継続（生涯スポーツの仲間作り）、縦の継承（世代間指導の循環化）」

#### 【指導者育成】

○練習会を通じて、指導技術の共有、世代間の継承を行っていく

3) ジュニア審判員資格の取得、大会でのワッペン着用の啓発活動

4) 技術等級の取得奨励

5) 県外大会の案内

6) 情報共有

小学部内や他の部との報告・連絡・相談がこまめに行え、情報の共有と活用ができる県全体での指導者やチームのつながりづくり、組織づくりを意識する。

#### ② 中学部

県下の中学生の強化・普及のために、地域の選抜チームの活性化を図り、選手及び指導者のやる気を引き出すように、組織作りに励む。

#### ③ 高校部

県下高校指導者の指導技術向上及び選手の強化・普及のため1月に「大分県高校研修会」（新規）を豊後大野市三重町大原体育館にて開催する。研修内容・講師等は未定。

#### ④ 大学部

特になし。

#### ⑤ シニア部

・ 県主催のシニア大会への積極的な取り組み。（4大会）

山下杯争奪大会、県シニア選手権大会

九州各県対抗シニア選手権予選大会、大友杯争奪大会

・ シニア強化・普及に向けた練習会の実施。

・ シニア部会連携強化の為の連絡網整備。

#### ⑥ レディース部

・ 大分県レディースソフトテニス連盟は年間8大会に取り組む。

- 春季大会、全日本レディース大分県予選、全日本シニア大分県予選、  
夏季大会兼九州大会予選、クラブ対抗大会、会長杯大会、秋季大会、交流大会
- ・全日本大会に向けて、月1回の強化練習を行う。
  - ・高校生との交流大会を行う。

#### 4 共通事業

##### (1) 組織と財政の強化を推進する。

- ・連盟の収入源は団体負担金、会員登録料、大会参加料と補助金である。この内、団体負担金と補助金は恒常的なお金であり、増を臨むことは難しい。よって、会員登録料と大会参加料の増を臨み、財政を強化する。
- ・会員登録制度の周知徹底を図り会員登録を定着させ、さらに推進する。
- ・会員登録料の用途を会員に周知することで財政の透明性を確保する。

##### (2) 大会の充実

魅力ある大会となるよう、すべての大会について検討を行う。大会によっては、スクラップ&ビルドの発想で柔軟に検討する。

##### (3) 大会申し込みシステムの活用

日連主催大会については、システムによる申込みをするようになっている。これと同様に県内大会についても日連のシステムを利用できるように平成28年度から整備された。今年度は県高校シングルス大会（平成29年1月9日）にて試行する。

##### (4) 理事会を年2回実施

従来、代議員会の直前に理事会を実施していた経緯がある。しかし、本来、理事会は代議員会に附議すべき事項等を審議するものであり、現状の方法では審議に十分な時間を割けない。よって、代議員会とは別日開催としたい。また、定例化を図るため、今年度から年2回（6月、2月）実施するようにする。